

もくじ

えび人 vol.93

2

文化会館

10

今号の表紙

3

相談

11

将来に備える老い支度講座

図書館

12

「お金の話と成年後見」と

子育て・HUGHUG赤ちゃん

14

成年後見制度の相談

4

「広報えびな」の共通マークとルール

日日時・日にち

期期間

時時間

場場所

対対象

定定員

内内容

講講師

費費用

持持ち物

他その他

任任期

条条件

主主催

Eメール

ホームページ

問問い合わせ

申申し込み

予予約制

祝祝日・振替休日を除く

休休み

高齢者対象の教室など

えびな健康マイレージ対象

市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」が届きます

市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。
ご協力ありがとうございました。

題字

えびな

えびなのイチゴが大好きです。
杉本小学校 栗本ななみさん(11歳)



写真

タイトル：同じ場所で
撮影場所：貫抜川沿い
撮影者：国分北在住
小林祐二さん



編集雑記

「地域で生き生きと活動する人の姿は、海老名の元気の源にもなっている」という考えから連載が始まり、今や「えび人」も大台目前。皆さんは毎月の「えび人」からどのような印象を感じているのでしょうか。私は原稿整理などでその方々の言葉に触れる時、直接取材をしていなくても、その人のあり方が伝わってくるように感じます。きっと元気をもらっているのだと思います。(あ)



(写真上) 大谷親和会の仲間たちと。自然と周りから頼られる存在に

(写真中) 学生時代から作り続けているトマト。毎年恒例のもぎ取りは大人気

(写真下) 農機具の修理は趣味の一つ。「音が鳴るものが大好きなんだ」と満面の笑み



今月のえび人

かみもりよしかず

神森義一さん

(大谷南在住・66歳)

海老名保護区保護司会副会長。保護司歴は海老名保護区で最長の21年。本業はトマトや米、酒米などを生産する農家で、海老名市青空市出店者会副会長も務める。大谷親和会で公園の清掃や花の栽植も行う。

飾らず、自然体で
正直でいたい

「お前くらいがちょうどいい」という先輩のユーモア交じりの言葉に背中を押され、神森さんは保護司として犯罪や非行をした人の更生を支えてきました。

保護観察の対象者には身構えずに、面接の約束を守らない人には毅然と叱ることもあります。一方で、信頼関係を築くための丁寧なコミュニケーションも心がけています。「例えば、『その後どうなった?』と経過のフォローをするようにしています。ちゃんと自分を見てくれていると感じても

らえると思うし、それが伝われば関係も密になっていく。保護観察期間が終わっても訪ねて来てくれる人もいて、うれしいですよ」

「正直でいたい」という思いはありますね」と、自分のできる範囲で飾らずに、でもそれと同じくらい前に進む努力も大切にしている神森さん。事情を抱えていてもいなくても、自然体で人の心に寄り添い、共に歩んでいきます。